



セルロースマイクロファイバー高配合 環境に優しいグリーンチップ® CMF

株式会社巴川製紙所(本社:東京都中央区、代表取締役社長:井上善雄)は、環境関連を中心としたSDGsに対応するグリーンチップ®ブランド製品の開発、拡充を進めています。この度、ポリプロピレン(PP)樹脂に天然素材であるセルロース繊維を配合した「グリーンチップ® CMF」をエフピー化成工業株式会社(静岡県富士市、代表取締役:赤澤英郎、以下 エフピー化成)と共同開発しました。【特許出願済】

自動車をはじめ多くの製品にはガラス繊維や無機フィラー等を強化材として配合した樹脂が使用されており、近年では天然繊維であるセルロースナノファイバー(CNF)やセルロースマイクロファイバー(CMF)を配合した樹脂の開発も進んでいます。当社は、特殊混練製法によりセルロース繊維の分散性、成形時の樹脂流動性を向上させた成形性の良い「グリーンチップ® CMF」(形状:ペレット)をエフピー化成と共同開発しました。お客様のニーズに合わせた配合や流動特性の調整が可能です。セルロース繊維を高配合できるため石油由来樹脂の使用量を低減でき、CO2削減にも貢献する環境に優しい製品です。また、PP樹脂と比較し、強度、耐熱性を向上できるため、成形品の厚みを薄くすることができ、軽量化も可能になります。

当社ブランド製品として「グリーンチップ® CMF」のサンプル販売を開始し、自動車および輸送分野、食品分野、日用雑貨分野などへの展開を進めます。

特長1 環境対応

- ◆ 石油由来樹脂の使用量を削減
- ◆ 乾式特殊混練製法により、セルロース繊維を高配合(最大55%)可能
- ◆ セルロース繊維51%以上配合の製品は紙製品と同様に可燃物として廃棄可能



ペレット



1.2mm厚 射出成形物

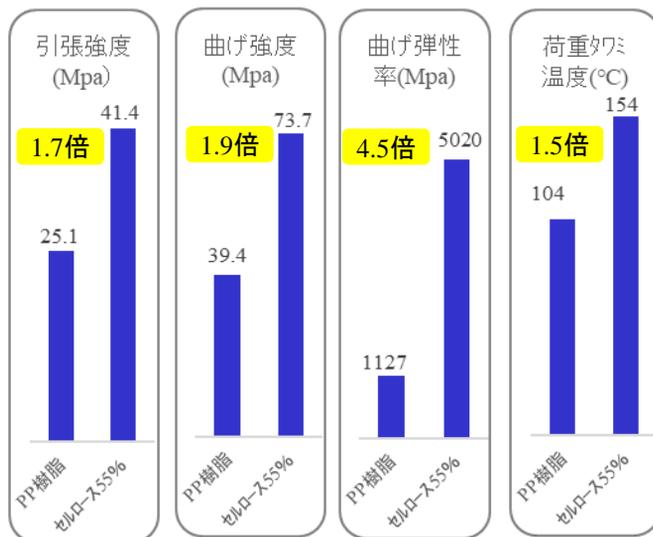
特長2 高強度、高耐熱

- ◆ セルロース繊維配合により強度・耐熱性を向上
- ◆ 成形品の軽量化可能

特長3 射出成形性の向上

- ◆ 樹脂の流れ改善(任意に流動性を調整可能)

当社はこれからお客様の成功と発展を支える最良のパートナーとして、時代のニーズに応えた製品づくり、新しい価値を創出し続けることに努めてまいります。



*上記値は測定値であり保証値ではありません

【お問い合わせ先】

株式会社巴川製紙所 iCasカンパニー 企画室
〒104-8335 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー7階
TEL: 03-3516-3405 E-mail: eisui_info@tomoegawa.co.jp
Website: <https://www.tomoegawa.co.jp>